



熱間静水圧プレス

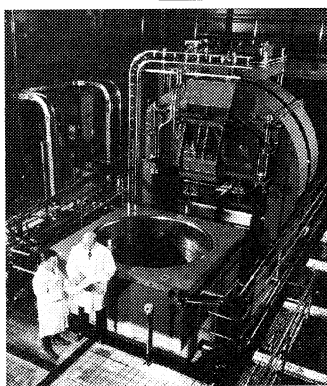
日本にHIP処理導入 5年内に大型装置設置

【名古屋】ボディコーポレーション（名古屋市中区、ジュリアン・ベイシヨア社長、052・912・5518）は、熱間静水圧プレス（HIP）処理装置（写真）を5年内に日本に設置し、これによる熱処理を受託する。今後、買収などで熱処理工場を確保する方針。設置するのは大型タイプ。大型の部品用で、日本や中国、韓国などアジア地域の需要に対応する。

の日本法人で、HIP処理装置の設置計画は同グループではアジア初。国内にはまだ熱処理工場を持っていないが、2018年までに10工場を展開する計画。HIP装置の導入工場は、需要の見込める北陸、関東、関西などを有力視している。

HIP処理は高温・高圧ガスで金属粉末を焼結したり金属同士を接合したりする技術。金属組織が高密化するため金属品の内部欠陥の改善にも利用される。大型液晶ディスプレイのスパッタリングターゲット材や、風力発電機・航空機のタービン翼の加工・メンテナンスなどに使われる。

ボディコーポレーションは欧米中心に世界に185の熱処理工場を持つ。アジアには中国、インド、タイ、シンガポールに計7工場がある。



5の熱処理工場を持つ。アジアには中国、インド、タイ、シンガポールに計7工場がある。